「主は私たちの声を 聞き、答えてくださ る」

〈黙想のうちに火は燃え上が る〉。このために、祈りに赴 くのである。燃え上がる焔と なって熱と火を与えることが できるために。だから、もう 祈りを続けることができず、 あなたの火が消えたように思 え、香りのよい薪をくべるこ ともできない時は、短い口祷 や射祷(呼祷)を小枝や枯葉 のつもりで投げ込んで、火を 絶やさないようにしなさい。 そうすれば時間を活用したこ とになる。(道92)

本心から心の重荷を下ろしたいと き、率直誠実な人なら、愛と理解を 示してくれる人の忠告を求めるはず です。父や母、夫や妻、兄弟や友人 に話します。このような場合、相手 の助言を聞くよりも、自分の心を打 ち明け、起こったことを話すほうを 好むのが普通ですが、それでも、こ れは対話です。神が私たちの言葉に 耳を傾け、答えてくださることを確 信し、神に対してもこのように話し たいものです。神のもとに駆け寄 り、心を悩ませる事柄すべてを、信 頼を込めて謙遜に話すのです。喜び と悲しみ、希望と不快、成功と失 敗、日々の出来事の些細な点まで打 ち明けます。私たちに関わりあるこ とはすべて、天の御父の関心事であ ることが分かるでしょう。

このようにすると、気づかないうち に、超自然的な歩みを力強く元気よ く踏み出すことができます。そうな れば、苦しみや自己放棄や悩みも、 主の傍らから離れさえしなければ、 喜ばしいものであることが分かるで しょう。神の子である私たちは、こ れほど御父の近くにいることを知る だけで、大きな力を得ることができ るのです。それゆえ、何が起ころう とも泰然自若としていることができ る。岩であり砦である主、我が父が 一緒にいてくださるからです。(神 の朋友245-246)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/dailytext/Shu-ha-Watashitachi-no-Koe-wo-Kiki-Kotae-tekudasaru/ (2025/11/23)